

2026年4月1日

公益財団法人ロッテ財団
第14回（2027年度）研究助成事業
「奨励研究助成」
【A】個人研究助成 募集要項

1. 本助成の趣旨

本助成は、将来、国際的に活躍する可能性を秘めた、優秀で志の高い若手研究者を対象とした助成制度です。自然科学から人文/社会科学にわたる「食と健康」の分野において、独創的・先端的な研究に専念する優れた若手研究者を助成します。

2. 本助成の特徴

※ 「奨励研究助成」では「【A】個人研究助成」と「【B】実装型共同研究助成」の2部門において、「食と健康」に関する研究課題を募集します。

（当募集要項は、「【A】個人研究助成」用です）

【A】個人研究助成

- (1) 「食と健康」に関する自然科学、人文/社会科学の広域科学分野における研究を通して、人々のウェルビーイングに貢献し、SDGs 課題の解決・達成を志す若手研究者を支援します。
- (2) 当財団の助成研究領域の多様性を考慮して、助成金額は上限 300 万円まで（少額でも可）とし、研究期間については1年間から3年間まで選択可能です。

【B】実装型共同研究助成（参考記載）

- (1) 「食と健康」に関する社会還元型の実装研究を通して人々のウェルビーイングに貢献し、SDGs 課題の解決・達成を具体的目標とする“異分野融合実装型共同研究”の推進を支援します。
- (2) 助成金額は最大 1,000 万円、助成期間は1年間から3年間まで選択可能です。

なお、【A】【B】共に、助成終了後も、当助成研究課題における論文作成、掲載、発表等にかかる費用についての付加的支援を行います。

3. 助成金額、開始時期・研究期間、対象年齢、採択件数

	奨励研究助成	
	【A】個人研究助成	【B】実装型共同研究助成 (参考記載)
一件あたりの 助成金額	上限 300 万円 ※10万円単位で申請してください。 少額での申請も可能です。	上限 1,000 万円 ※10万円単位で申請してください。
	※申請時の希望金額 = 助成金額 となります。	
開始時期・ 研究期間	開始時期：2027年4月 研究期間：1年から3年まで選択可能	
対象年齢 (4/1時点)	原則 40 歳以下 ※人文/社会科学系研究者は原則 45 歳以下まで応募可	50 歳以下 (原則規定はありません) ※但し、共同研究者のうち、少なくと も1名は35歳以下であること
採択予定件数	総件数 30件程度 各区分 6件～10件程度 ※区分は次頁に記載	3件程度

(留意事項)

【A】個人研究助成と【B】実装型共同研究助成は、申請の際の応募区分(プログラム)、募集要項、申請書が別になりますので、ご注意ください。

4. 助成研究区分

※ 助成研究区分はご自身の研究内容に最も該当する分野を選んでください。研究内容によっては、事務局で区分を変更する場合があります。

「食と健康」に関する自然科学、人文/社会科学の広域科学分野における研究を通して、人々のウェルビーイングに貢献し、SDGs 課題の解決・達成を志す若手研究者を支援

1. 「食の生産から食卓まで」に関わる研究

～ 食料の生産・加工・流通・保存・備蓄・消費・廃棄等に関わる研究やフードテック等の最新技術開発研究を通して SDGs 目標の達成を目指す

(サブカテゴリー) # 食料の生産・製造・加工 # 育種、品質改良 # 食料の流通・保存・備蓄 # 調理 # 食料の廃棄・再活用 # 食の安全性・衛生 # 次世代の食資源開発 (昆虫食・培養肉等) # 食料の安定確保 # フードテック・アグリテック活用 # バイオインフォマティクス活用 # DX・AI 技術による開発 等

2. 「食を健康的に味わう、楽しむ」に関わる研究

～ 「食べること」(五感、風味、嗜好、咀嚼・嚥下等)を通して人々のライフステージに合った QOL 向上を目指す

(サブカテゴリー) # 食と五感・知覚・感性 # 食素材・風味・テクスチャー # 調理技術 # 食の嗜好性・評価 # 食の官能評価・認知科学、心理学 # 咀嚼・嚥下 # ウェアラブルデバイス活用 # ライフステージと食 等

3. 「食による健康増進(ウェルネス)」に関わる研究

～ 食物摂取がもたらす身体・精神面での健康増進(ウェルネス)の向上を目指す

(サブカテゴリー) # 栄養疫学 # 機能性食品 # 食物摂取と腸内細菌 # 食事と老化(フレイル・サルコペニア) # 食物アレルギー # 食行動、食習慣 # 食品と疾病 # 食物摂取と口内環境 # 食物摂取による健康増進に関わるデータサイエンス、インフォマティクス 等

4. 「食を巡る暮らしと文化」に関わる研究(人文/社会科学研究)

～ 文化人類学・社会学・歴史学・経済学・経営学等、おもに人文科学・社会科学系からのアプローチによる食文化や食行動等の研究を通して、人々および社会の「食」に関わる認識を高め、ウェルビーイングの向上を目指す

(サブカテゴリー) # 伝統食、未来食 # 食の生産・流通等の歴史 # 世界の食事情 # 食糧経済 # 計量経済 # 流通論・フードシステム # マーケティングリサーチ # 消費者行動 # フードマネジメント # フードロス # フェアトレード # 飢餓・食糧対策 # 食教育(食育) # 食に関する倫理観・価値観 # 食文化 # 食行動・食習慣 # 食を巡る生活環境 # 食の生活環境 # 地域振興・観光・特産物 # 歴史学・人類学から見た食と健康 等

5. 応募資格・条件

- (1) 本年4月1日時点で原則40歳以下*の方。
※ 人文/社会科学系研究者の方は、原則45歳以下まで応募可能です。
なお、産休・育休・介護休暇など、やむを得ぬ事情で研究を中断した期間がある場合は、申請入力フォームの「略歴」欄に記載してください（任意）。
- (2) 本人が日本語で申請書を記載できる方。
- (3) 申請時点で、国内の大学・短期大学・高等専門学校および公的研究機関（以下、「所属機関」）に所属する研究者のうち、修士号取得者で研究職の方、もしくは博士号取得者（申請時点で博士課程在籍中など、学生の方は応募できません）。助成期間中は所属機関において助成金の機関管理を受け、かつ国内で本人が課題研究を行える方。
- (4) 助成申請にあたり、所属機関長（学部長・研究科長・研究所長等）の承認を得られる方。（所属機関長には採択後の提出書類に記名公印をいただきます）
- (5) 科研費等の大型助成を申請時点で受けている場合、研究課題名の重複や、エフォート管理上、研究費の過度の集中が認められるときには、不採択となることがあります。
- (6) 当助成の課題研究については、成果の公表（論文発表や学会等での口頭発表等）が可能な研究としてください。（企業との共同研究等で研究成果が非公表となる課題については認めていません）
- (7) 助成開始時の研究状況が、申請時点での申請書記載の内容と異なる場合は、採択を取り消す場合があります。
- (8) 当財団の他の助成への重複応募および助成を受けることはできません。
- (9) 当財団助成を助成中の方は、再申請については、助成期間終了後に行ってください。（助成終了後に提出いただく成果報告・会計報告書類の受理後、再申請が可能です）

なお、2026年12月17日(木)開催予定の贈呈式には、病気や海外出張中等やむを得ない事情を除いて、申請者本人に必ず出席していただきます。

6. 応募方法

申請書類の郵送は不要です。Web上でのみ申請手続きを行ってください。

(1) Web 申請

ロッテ財団ホームページ>「研究助成事業」>「公募情報」>「申請方法」より、手順に従って登録・基本情報の入力、及び申請書類のアップロードを行ってください。

「申請方法」⇒ https://grant.lottefoundation.jp/login/about_app.html

(2) アップロード書類一覧

※ 「【A】個人研究助成」と「【B】実装型共同研究助成」では申請フォーマットが異なります。ご注意ください。

- 「申請概要」 必ず1ページにまとめてください。
- 「申請書詳細」 全体で必ず6ページ以内に収めてください。
- 論文 2報まで（「申請書詳細」[2]業績リストの1.原著論文の内①、②のもの）

(3) 申請書類記入上の留意点

- ① 申請書類は日本語で本人が記入してください。
- ② 申請書類の記入方法については、書類上に記載の注意事項を必ずご確認ください。

※募集締め切り後の申請書類記載内容の変更および論文の差し替え等はできません。

7. 応募締め切り

2026年5月22日(金)12時(正午)まで Web での登録完了のこと

8. 選考日程・結果通知

- (1) 2026年8月20日(木)開催の選考委員会にて書面審査を行い、10月6日(火)開催予定の理事会において助成対象者が承認されます。
- (2) 合否結果については、10月8日(木)以降にメールまたは文書で通知します。
なお、採否の理由についての照会には回答いたしかねます。

9. 助成金の使途

助成金の使途は、原則、助成対象者本人のみ使用可であり、課題研究に直接必要な経費とします（設備備品類、消耗品費、旅費等）。使途の詳細は、採択時に連絡します。

なお、以下の費用は対象外とします。

- 建物等の施設に関する経費(直接経費により購入した物品を導入することにより必要となる軽微な据付等のための経費を除く)
- 助成期間中に発生した事故・災害の処理のための経費
- 助成対象者本人への人件費・謝金
- 助成対象者が所属する組織のオーバーヘッド (間接経費)

10. 助成金の贈呈

(1) 贈呈式

2026年12月17日(木)開催予定の贈呈式には、助成対象者本人に出席していただきます。

(2) 助成金振込時期・振込先

2027年3月末までに、受入研究機関の指定口座に振込みます。助成対象者の個人口座への振込はできません。

なお、助成開始手続きにおける「寄附申込書」の書式については、当財団所定の書式をご使用いただくようお願いしております。

11. 助成決定後の遵守事項

助成決定後、助成対象者には、主に以下の事項を遵守していただきます。

- ・ 研究計画書および予算書に基づく研究活動
- ・ 年次報告書および最終研究報告書の期限内提出

12. 個人情報の取扱いに関する事項

- (1) 当財団の研究助成への応募にかかわる全ての個人情報は、選考に関する手続き(審査および当財団からの連絡)のみに使用します。
- (2) 助成決定後、当財団に「個人情報の取扱いに関する同意書」を提出し、併せて主として当財団の刊行物とホームページ等に以下の情報を公開することに同意していただきます。
 - ① 助成対象者の氏名、所属機関名、職位、顔写真
 - ② 研究課題名・研究内容
 - ③ 研究期間
 - ④ 助成金額
 - ⑤ 研究成果報告
 - ⑥ 財団主催の行事に参加した際、財団で撮影した写真

13. 申請に関する問い合わせ先

※電話でのお問い合わせは受け付けていません。必ず文面に所属機関、ご氏名、メールアドレスを記載し、下記メールまたはマイページ内のチャットでお問い合わせください。

※お問い合わせの前に、ホームページ上の「申請 FAQ」をご確認ください。

公益財団法人ロッテ財団 研究助成担当 宛 grant@lottfoundation.jp

以上